

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度経営計画の重点（短期経営目標）
1 いのちと人権を大切に、安心で安全な教育の推進 2 児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた教育の推進 3 自立と社会参加を目指し、共生社会の構築に向けた教育の推進 4 医療・労働・福祉等と連携し、地域や保護者から信頼され期待される学校づくり 5 学校組織・運営の改編	1 成果 (1) 流通サービス3年間カリキュラムの完成 (2) ビジネス総合科入学選考の見直しと職業学科連携 (3) 各教育部における人権の視点を大切に教育の推進 2 課題 (1) 校外活動等の拡充にともなう多忙化 (2) 取組や行事等の精選と組織運営の改編 (3) 各教育部間及び病院との連携	1 職業学科の充実と学校運営組織、指導体制等の改編 2 人権の視点を大切に教育活動及び実践研究の推進 3 地域資源・人材と連携した、地域での教育活動の展開 4 各教育部の課題に応じた指導システムの構築と、授業改善への取組

評価領域	重点目標	具体的方策（案）	評価			成果と課題
1 組織・運営	(1) 職業学科の充実と学校運営組織、指導体制等の改編	①校務・運営組織等の見直し、働き方改革等に向けた具体的方策を検討協議する	A	B		・「教務部会」を週1回行い、各行事のあり方や一斉メール配信の試行など具体的な方策を、教務間で密に検討協議することで提示及び実施につなげた。
		②新たな販売・流通システムを構築する	C			・新しい販売システムを検討したが、実践につながらなかった。
		③入学選考の内容や評価及びの共通化等に伴う検討協議をすすめる	B			・入学時に求める力を整理し、検査や評価を再検討できた。八幡支援との連携は、年間をととして計画的に実施することが必要。
	(2) 各教育部の課題の応じた指導システムの構築と、授業改善への取組	①生徒の主体性を尊重した進路指導の充実を図る	A	A		・適性やニーズをもとに職場開拓を行い、新規7事業所の雇用に結びついた。
		②教育部課題の解決に向けた取組の推進する	B			・各教育部目標の達成状況を確認しながら、充実した学習活動ができた。
		③全校理解を進めるため、各教育部間の交流を推進する	C			・全校での実態交流を5月に1度行うにとどまった。学校祭に向けて2回目の実態交流を行うと有効と思われる。
		④外部専門職を活用した生徒支援の推進する	A			・高等部を中心に効果的・計画的にSC・OTの活用をすすめることができた。
	(3) 校務事務システム・情報システムの保守管理と活用の推進	①校内LANの整備と事務システムの活用促進による校務の効率化をすすめる	B	B		・専門家と連携し、サーバー機能の維持管理ができた。
		②ICTを有効に活用した学習に取り組む	B			・それぞれの学部で、PCやI P a d等を授業に活用できた。
		③校内外への情報発信で、各教育部の取組を広報する	A			・玄関厳寒ディスプレイやHPを活用し、校内情報を迅速に発信できた。また、学校だよりを学期に1回以上発行することができた。
	(4) 病院・病棟や前籍校との連携による指導の充実	①病院と連携した緊急対応システムの構築する	B	A		・病院と各教育部や養護教諭と密に連携をとり、迅速な対応が行えた。
		②障害の重度化・多様化に応じた医療的ケアや指導の充実を図る	A			・児童生徒の実態に即し、摂食や自立活動について学ぶ機会を設けた。
		③病院や前籍校との連携をすすめる	A			・計画的な連絡調整も大切にしながら、必要に合わせた連携を適宜行えた。
	(5) 保健・安全教育の充実と推進	①救急体制の整備及び緊急時に備えた訓練等を充実する	A	A		・各教育部で計画的に緊急対応訓練を行えた。
		②異性との関わり方等を含めた性教育の実施と充実をめざす	A			・各教育部と保健室が連携して実施することができた。外部講師も活用した。
2 地域支援・地域連携	(1) 地域との連携による実践及び情報の発信	①小中学校（特別支援学級）への情報提供を行う	A	A		・ものづくり教室や出前授業で小・中学校との交流を行い、生徒の受付やプレゼンを実施し、本校の生徒の力を知ってもらう機会となった。
		②全校での学校見学会を実施する	B			・2回実施し100名を超える見学者があった。毎回きつとやほっとのを知りたい参加者がいる。自由に見学してもらう方法にするなど簡素化を図る。
	(2) 不登校に関する相談や研修支援の充実	①不登校の未然防止や、支援機関をつなぐ支援の推進する	A	A	A	・LD事例を発信していくことで、Drや心理士、通級指導教室のTからの連携相談が増えた。
		②小中高等学校のニーズに応じた支援の充実を図る	A			・研修会後に加えて、巡回相談後にもアンケートを実施し、地域のニーズに応じた支援を行った。

	(3) 地域との連携・交流による活動の促進	③地域のニーズをとらえた公開研修会を実施する	A	A	・地域のニーズをつかんだテーマ設定をすることで、定員を超える参加者を得た。
		①地域資源・人材と連携した地域での活動の推進する	B		・地域資源の活用を整理したり、専門家に指導受けることで授業の充実を図った。
		②学校周辺地域との連携を深める	A		・各教育部で他校、地域の幼稚園、福祉施設等との様々な交流及び共同学習を行った。
		③卒業後の豊かな生活につながる取組を実施する	A		・学部全体や部活、希望者で地域の大会にも積極的に参加した。
3 教育課程・実践研究	(1) 自立と社会参加に向けた人権教育の推進	①人権の視点を大切にした交流及び共同学習を推進する	B	B	・教育部間で連携を図り、授業での交流や昼交流を計画的に実施した。
		②卒業後の豊かな生活につながる交流を推進する	B		・校内喫茶に病棟から卒業生を招き、交流の機会を設定することができた。
		③人権に関わる教職員研修を実施する	B		・外部講師を招き、全校人権教育研修会を実施した。（夏期に1回）
	(2) 指導計画から評価へのシステムの構築と支援計画・移行支援計画の充実	①指導計画から評価等の様式やシステムの改善を図る	B	B	・様式について教育部会や評価会議で改善を図った。観点別評価の検討を進めた。
		②支援計画・移行支援計画の充実を図る	B		・支援計画と指導計画を各教育部の実態に合わせた書式や記入方法で作成して活用できるようにした。
		③新「校務事務システム」（電子化）の導入をすすめる	C		・教育支援計画におけるプロフィールの電子化導入の周知を行った。
	(3) 教育部の教育課題に応じた実践研究の推進と発信	①全校又は教育部を対象にした研究授業や公開授業を実施する	B	B	・授業改善を目指しつつ、全校職員が協議研究できる事後の研究会運営には工夫が必要である
		②「合わせた指導」等の授業改善とさらなる充実を図る	B		・各教育部の実践研究部が中心になり、実態に合わせて研修会を実施した。新指への移行を踏まえさらに充実させたい。
		③自立と社会参加に向けた「自立活動」の研究をすすめる	B		・外部講師を招いて、ほんと、きっとでも実態に合った研究を進められた。
	(4) 児童生徒の障害や課題に応じた教育課程の改編	①障害の重度化・多様化に対応した専門性向上を図る	B	B	・ほぼ全員が研修会に参加できた。学び続ける姿勢を大切に今後も取り組みたい。
		②心理的課題対応への特別な教育課程の検討をすすめる	B		・児童生徒の転出入が多い中、学校医の協力と共に一人一人に丁寧なアセスメントが行え、教育部内で共有することで、教育活動全体で効果的な指導につなげることができた。
		③「ビジネス総合科」の教育課程の充実を図る	B		・卒業後に必要な力をつけるために、3年間を見通した教材、授業作りを意識し、改善された。
	(5) 教員の人材育成と指導力の向上	①初任者勤務校研修等の人材育成研修を企画して計画的に実施する	B	B	・教務部との連携し全教育部のバックアップのもと、計画的に実施できた。
		②初任者研修等を通した専門性の向上に計画的に取り組む	B		・新学習指導要領の趣旨をふまえた研修を行い、授業改善につながる研究授業を目指した。

学校関係者評価委員による評価	・丁寧できめ細かな指導をされている。子どもたちに社会性をつけるためには、さらに先生たち自らが社会経験を広げ、専門性を高めて欲しい。 ・接客や社会に出たときの工夫など、様々な取組をされている。障害のある方から学ぶことも多く、周囲にも良い影響をたくさん与えることもあるのではと感じた。 ・支援学校では個々の実態に合わせた教育をされているのが良いと思った。先生たちは目立った生徒に目を奪われがちだが、不登校の子どもたちも困り感を持って助けを求めている。今後も様々な機関と連携しながらきめ細かな支援をすすめて欲しい。 ・地域の住民として竹藪の通学路が暗く心配に思うときがある。地域のコミュニティーセンターは常にオープンにして生徒たちを見守っているので、困ったときには気軽にいつでも寄って欲しい。
----------------	--

次年度に向けた改善の方向性	1 新学習指導要領の実施に向けた組織を設置し、教育課程を中心に教育活動全体の質的な向上を図る「カリキュラム・マネジメント」を推進する。 2 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善や教材研究、評価の改善・充実をすすめる。（定例会＋実践研究部長＋人材育成代表で計画推進） 3 働き方改革も意識しながら、さらに行事や取組の精選、効率的な組織による運営をめざす。 4 積極的な地域への情報発信や教育部間の相互理解と交流の推進。
---------------	--